



立五中だより

教育目標 自ら進んで勉強する人になろう ◎あたたかい思いやりのある人になろう
よいことは進んで実行する人になろう 心身ともに健康な人になろう

令和 7年 4月発行

立川市立立川第五中学校

www.tachikawa-edu.jp/jh05/

「あたたかい思いやりのある人になろう」

校長 渋谷 里美

令和7年度が始まり1ヶ月が経ちました。今年度は桜の花が入学式を待っていたかのように咲く中、新入生224名を迎え全校生徒645名、23クラスでスタートしました。改めまして、お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。昨年度は創立60周年を迎えました。伝統を重視する中にも時代の変化を受け止め、柔軟に対応できるしなやかさのある学校創りに努めてまいります。特に今年度は教育目標の重点項目として、表題にある「あたたかい思いやりのある人になろう」に力を入れて、教職員一同取組んでまいります。



新入生は12校の小学校から入学してきました。中には一人で五中に入学した生徒もいます。2,3年生も1年間慣れ親しんだ環境を離れ、新しいクラス編成に心細さを感じることもあるでしょう。人は変化に順応するまでに時間がかかり、個人差もあります。そんな中で、学校全体が、あたたかさと思いやりのある集団であれば、不安な気持ちも徐々に和らいでいきます。また、安心できる環境だからこそ、少しの勇気を発揮しやすくなります。失敗を受け止めてくれる思いやりがあるから、さまざまなことに挑戦しやすくなります。

もう一つ大事にしていきたいことが言葉選びです。トゲトゲしない優しさのある言葉。これは語彙(ごい)を増やさないと上手くいきません。日々取組んでいる朝読書からヒントになる言葉を探し、身に付けていって欲しいです。単発の言葉ではなく、文章としての会話を心掛けましょう。これはご家庭でのご協力が必要です。日常会話を優しさのある言葉で満たし、送り出してください。そして一日の会話にも、変化を折り混ぜながらいろいろ聞き出してください。もちろんご心配なことがあれば、すぐに学校にご連絡ください。小さな疑問であれば、容易に解決できることはたくさんあります。保護者の方も学校との会話をどうぞ積極的に行ってください。昨年は感謝する気持ちを大切にしてきました。その上に積み重ねるように、あたたかい思いやりのある言葉を使える人になることを目指します。中学校3年間はあっという間です。考える前に行動できる一年になるよう、全校で取組んでいきます。

新年度早々、うれしい話を3つご紹介します

4月21日(月)に生徒朝礼があり、近隣にあるファミリーレストランの利用方法について全校生徒に提案がありました。昨年から対応策を考えるために、連携している大学生に意見を聞く機会を設けながら、何時間もかけて対策案を検討してくれました。一足先に校長室に説明に来た生徒が自分たちの言葉でしっかり説明を行う姿に、頼もしさを感じました。



4月25日(金)にセーフティー教室があり、全校で東京保護観察所立川支部の方の講演を伺いました。650名近くの生徒達は、時には問いに手を上げて応えるなど意欲的に話を聞いていました。講師の方に感想を伺ったところ、全校生徒の聞く態度、講演の最後に質問する生徒の勇氣、お礼の言葉を述べる生徒がとても立派で、感激したことをぜひ伝えてくださいとおっしゃっていました。

4月26日(土)の出来事です。2年生の男子生徒が休日に、自転車で昭和記念公園付近を通過中、高齢の方が体調不良を訴えていました。その方をご自宅まで送り届けることになり、自分の自転車を自宅に置き、急いでその場所に折り返し、約1時間かけて他の方と一緒に送り届けたそうです。一緒に送り届けた方から、その行動に対し感激したので、是非学校に知らせたいとのことでご連絡をいただきました。